（1）　昭和21年3月1日（第3種郵便物認可）　昭和24年2月28日　運輸省特別扱承認第233號　昭和24年5月22日　いわき民報　夕刊　（日曜日）　第924號

いわき民報

平市三町目48　電381
編輯發行人　田原　登
兼印刷人
日刊　但月曜を除く
定價1月40円
1部1円50錢
發行所
いわき民報社

たい癈せる道義昂揚へ
宗教の大衆運動化
石城宗教連盟を結成

中村月城（キリスト教）遠藤心光（佛教）山名隆貞（神社）大形茂次（神道諸派）氏らが發起人となつて結成を急いでいた石城宗教連盟の創立總會は二十日午後二時より平市性源寺に平市並に郡下から約百五十名の宗教家が集つて開いた、先づ中村氏の挨拶、經過報告あつてのち遠藤氏が議長となり規約の設定を行つたが同連盟は石城郡及び平市內所在の神社、寺院、敎會、神道諸派の各會員を以つて組織し國民道義の昂揚、民族傳統の美德を保持、世界平和の確立を期する

ことを目的として郡市二百二十名の全宗教家に呼掛け發足することに決定、十名の委員を各派中から選任することにし近く通常總會を開くのでそれまで規約の細則と委員の割振りなどにつき發起人が當ることになつたが委員は結局、佛教五名、神社三名、神道諸派一名、キリスト敎一名に落付く模樣である、なお同連盟は今後宗教家としての本分を發揮するための中心機關になる一方講演會などを開催して宗教の大衆運動化のため街頭へも大いに進出することになつた

學校行政の指導
廿五六日　校長會議

教育委員會石城出張所では二十五日午前十時より第二小學校（場所は豫定）に市內並に四倉、澤渡方部、二十六日は午前九時より前日の殘つた方部の郡下各校長に出席を求め郡市學校長會議を開く、當日は木村、蓮沼兩敎育委員、縣から行政課豬狩主事らが出席し人事、給與、學校建築、新採用教員の詮衡など行政と指導面に就いて協議する

平と合併を前提に
第三中の新築決議
きよう飯野村會開催

飯野村では二十一日午前九時から村會を開き平市との合併を前提とする平第三中學校を同村谷川瀬に建築することを協議した結果、既に部落毎の懇談會でも村民が殆んど贊成しているので平市と神谷村が第二中學校で行つた契約と同じ契約に基いて建築することに正式議決した

鹿島鑛の用水竣工式

總工費八千六百万円を要した常磐炭礦鹿島鑛の鑛業用水工事の竣工式は二十四日午後二時から湯本町役員淨水場において多數の來賓參列の上擧行

電力協議會

平石炭局では二十一日午前十一時から局會議室に炭鑛電力協議會を開き、縣內各炭鑛經營者二十名參集、現在炭鑛公休日を一齊に實施している方式を振替えてこれを調整し公休日の作業電力が一時に低下するのを連日平均に流通し發電所のボーク（最大電力）調整を行い有効に使用しようというもので經營者はこの石炭局の案に贊成したが勞働者側の意見をまって決定をすることにし再度協議することになつた

公安條令反對
署名運動
廿二日から展開

炭勞東部支部縣勞會議では去月十四日縣會を通過した縣公安條令は舊治安維持法の復活だとその撤廢を叫び二十二日から早速全縣下に署名運動を展開することになつたが、地方自治法第七十四條によれば全有權者數の五十分の一の連署があれば地方團体長に條例の制定又は改廢の請求が出來ることになつており縣下全有權者百二万余の中二万四百名を必要とするが、平地區勞組下では二万五千炭勞二万五千の五万名で連署の規程がやかましく一町村一張綴、有權者の自書、捺印を正確にしてない場合オミットされるので技術的に仲々困難だと云われているが、この運動は署名開始から二ヵ月以內となつている

後藤教授の講演會
廿三日　考古學について

高久と磐間の古墳發掘に來平した考古學の權威明大後藤守一敎授は廿三日午前八時半から一時間磐女高、九時半から一時間磐高に於て「東北地方の考古學」について講演することゝなつた、午後三時からは磐高で座談會を開くが一般の參加も希望している

喫茶
ブラジル
（グリル民報改稱）

野犬狩り
廿三日から

平保健所ではさきに埼玉茨城縣に狂犬が猛威を振い約五十名がこう傷され多數の死亡者をだした事件があり當管內に於てもこれが豫防のため二十三日から管內一齊に野犬、浮浪犬を徹底的に掃とうすることになつた又こう傷犬の使用者及びこう傷されたものは急速に屆出でる樣注意しているなお狂犬の豫防接種はワクチンの都合で十月以降に行うこととなつているが取敢えず勿來、錦方部の隣接地域は六月初旬に實施する

闇煙草を一齊急襲
獲物は案外に少量

郡山專賣局では二十日午前二時ころ急據二本松、須賀川、三春、石川、小野新町、平の各煙草監視官四十五名を動員平專賣局出張所管內のヤミ煙草密造摘發を實施、葉煙草二十四キロ、手巻煙草一万六千六百六十二本、卷紙八万七千百二十枚を押收した

郡山地方專賣局では縣下初のこころみとして一齊摘發の對象を平出張所管內にあて鈴木監視課長指揮のもと二班に別かれ磐崎、湯本、錦、內郷、好間、小名濱等內偵中だつた四十軒を對象に午前六時ころ朝飯前をねらって急襲中三十六軒が違反にとわれたが案外押收量が少なかつた

配給もの
一人一ケのパン

食糧配給公團平支所では二十三日から一人一個（六円九十錢）の割で第一回コンミール入りパンの配給を行う、今月のパン配給はこれで打切り次回の配給は來月上旬四回の計畫である

PTA役員

湯本町小中學校PTA總會は去る十八日湯本小學校で開かれ左の役員を決定した

△湯本小學校、會長日野利春、副會長御代一、仝鈴木謙四郎、△常磐小中學校會長飯島隆、副會長北澤內次、仝大越マサヨ

指名手配中の
破藏犯逮捕

破藏犯として國警本部で指名手配中であつた東京府武藏野市境町古物商金本令壽こと金令壽（二九）は二十日午後三時半ごろ平署員に逮捕された、仝人は去る十五日夜十一時ごろから翌朝にかけて京府下東留村二宮岡部巖さん方の土藏を破り衣類百數十點を竊取したものである

新星藥品の小火
損害殆んど無し

二十一日午前十一時二十五分頃平市大町二八番地新星藥品株式會社の試驗室から發火したが、試驗用の容器小數破損した程度で大事に至らなかつた

原因は「タウリン」試作中メタノールの入つたコルベレが破損引火したらしく、消火器を早く役下した爲、壁がこげた程度である

衣類盗難

內郷町御厩無職先崎ミツさん（五八）方では十八日晝ごろ衣類十點一万二百五十円相當を竊取された

共謀て衣類騙取

住居不定無職中野武平（二三）は去る三月中旬頃四、五名と共謀、四倉新町古物商佐藤ミノさん（五一）を巧に欺き衣類品その他八万五千円相當を騙取したことを發覺、二十日四倉署から身柄送檢

賭博罪に罰金

四倉町仲町無職菱沼四郎（二五）は賭博罪で罰金二百円

いわき寸言

△宗教連盟を結成した大衆運動に乘出すと云う活潑な運動を展開せよ

△ヤミ煙草まだある、販賣値が安くなるまではヤミは消えないだろう

放出綿布配給御禮とお知らせ

◇配給御禮
今回の放出綿布配給に際しましては消費者皆樣の絶大なる御協力の御陰を持ちまして平市分は大半配給をすませて戴きました厚く御禮申上げます

◇色々の都合でまだ配給を受けなかつた方は
左記場所まで御出掛け下さい
【配給日時】五月二十六日より三十日まで
每日午前九時より午後四時まで
【配給場所】平市新川町二九
平地區衣料品協同組合
（目標　月見橋手前約十間）　事務所

◇…豫約券の品は
來月上旬入荷の見込ですその節は早速お知らせしますから豫約券を大切に所持願います
平地區衣料品協同組合
平共販部
平市消費者皆樣へ

御わび

二十一日午前十一時二十五分頃當工場試驗室より小火を出し市民の皆樣をお騷がせ致しまして申譯ありません。謹んでお詫び申上げます。

早速お駈けつけお見舞いを頂きましてありがとう御座いました。幸い試驗用の容器少量破損した程度で殆んど損害ありませんから御安心願います。

平市大町二八
新星藥品工業株式會社

父染野伊三郎儀老衰病にて療養中の處、二十日午後六時八十五歳を以て死去致しました。生前の御厚誼を拜謝し、紙上にて御通知申上げます。
追つて葬儀は二十二日午後一時自宅出棺古鍛冶町松堂院に於て執行致します
昭和二十四年五月二十一日
平市三丁目五番地
喪主　染野重二郎
嗣子　染野重次

祝　新築落成　石城地方事務所

平營林署

平海産物荷受組合
組合長　志賀盛榮

食糧配給公團
福島縣平支部
所長　片寄　保

石城薪炭林産組合

平地區商業協同組合
專務理事　高木忠三郎

プラチナボールペン
岡萬年筆店
平三中央通

平市大工町
(公)磐城海産物市場
電四〇七・四四八

平映畫組合
大映　世界館
MPEA　聚樂館
松竹　平館
東寶　平東寶

洋裝　雜貨
江川屋洋裝店
平三　電五七六

銘木は
色川銘木部へ
電三四一

工事施行者
平市十五丁目
丸茂土建工業所
所長　豐谷茂雄
電話480・1061番

平市金融團
日本勸業銀行平支店
東邦銀行平支店
富士銀行平支店
七十七銀行平支店
常陽銀行平支店
平信用組合金庫
大東無盡株式會社平支店
福島無盡株式會社平支店

靴の店
松浦靴店
松浦直恵
平二　電七四二

福島縣販賣農業協同組合連合會　石城出張所
福島縣信用農業協同組合連合會　平支所
福島縣購買農業協同組合連合會　平支所
福島縣農業共濟保險組合　石城支部

福島縣パン商工業協同組合
濱通支部

標準靴希望販賣
菊一靴店
平三　電四四六

地方産業に至大な貢獻
サメ川疏水通水十周年
廿三日盛大なる記念祝典

明治三十一年着工以來幾多の難關を遂に突破して七百町歩の水田を美田化し鮫川疏水通水十周年祭並に記念碑除幕式は既報の如く明二十三日午前十一時半から植田町小學校講堂で石原知事田中土木部長をはじめ地元郡出身關內代議士縣會議員他有志多數を招待盛大なる記念式典を擧行する

式典は古川組合長、箱崎管理者から夫々過去現在の水利事業の狀況報告の挨拶に次いで來賓の祝辭があり終つて祝宴に移るが石原知事關內代議士らはこの祝典終了後勿來の水道布設起工式に參列する

思えば鮫川疏水は灌漑用、工業用、飲料用として地方産業の發達に至大な貢獻をなしているが、その使命はこれだけに止まらず更に水路の擴張によつて近い將來に一千二百町の灌漑面積をもつはずで着々この理想實現に二十四名の議員と共に諸計畫を樹てているので組合の責任は重且つ大である、重任を負う議員の顔觸れは左の通り

◇泉村佐藤長久、佐藤權兵衞、三瓶もく三郎、鈴木孝章吉田勝記

◇小名濱町樋口速、菅原彌作、小濱長太郎、飯塚藤右エ門、駒木根忠三、石井平太郎、松本懇、箱崎瀧三郎村上重一、箱崎平三郎

◇渡邊村草野軍治、大友美てる、高木信定

◇植田町佐藤丑太郎、高木一郎、小野清晴、渡邊八郎

◇上遠野村蛭田直重

工費七千萬圓を投じ
水道布設起工式
勿來町發展に大きな寄與

23日 勿來町では七千萬円を投じ三ヶ年繼續事業として水道布設を行うことになりこれが起工式を二十三日午後二時より川部村小川地內の水源地現場で石原縣知事、伊關縣土木部長、厚生省田中水道課長建設省岩井水道課長並に關內代議士近接町村長らが臨席して盛大に擧行する

同町の水道布設計劃によれば昭和二十四、五の二ヶ年は各二千五百萬円、第三年目の昭和二十六年は二千万円の豫算を豫定し四時川の上流川部村小川地內小川用水堰普通水利組合の小川堰より分水取入れ同村小川地區に沈澱池、即筒所を設け更に勿來町白米地內に貯水池、ろ過池配水池を建設することになつているが給水區域の勿來町一万九千五百人に對する一日一人の給水量は平均百六十立方米となつている

同町は今まで井戸水が悪かつたため苦しみ更に炭鑛の發掘擴大に伴つて井戸水も渇水する恐れが充分あり特に九面漁港では水利の便がないため地元船ですらわざわざ他港より給水を受けている狀態のためこれが完成は同町の發展に寄與するところ大きいものがある

日平線期成同盟
六月一日設立總會

十八日平石炭局に開らいた十五万ボルト日平線建設期成同盟發足準備委員會で設立總會を六月一日午前十時から平石炭局會議室に開らくことに決めた

寫生デー
廿三日行う

平一小校では兒童の健康を意味して校外寫生デーを春秋の二回行う豫定を立てていたがその第一回を來る二十三日實施することになつた、この日は二十四學校の全生徒がそれそれ擔任の先生と相談し一キロ乃至二キロ程度の處へお辨當を持つて出かけ寫生を行うが、この寫生畫は各學級毎に展覽會を開き優秀者八名に學級賞を、更に入賞者は學校展において各學級二名づつの學校賞が與えられる

本因坊名人を破る
宮下六段の精進

郷土の生んだ棋界のキリン兒宮下六段は十一、二日の日本棋院で行はれた手合で本因坊名人と對戰五目で勝ち更に十八、九日の手合では中押で林七段を破るなど最近目ざましい活躍振りである

全六段は內郷出身で先月末地元の人達で後援會を組織し將來を嘱望されている人である

賃金未拂で泣訴

平勞基署にる去十六日湯本町龜尾小林組（請負業山本英雄氏）の日傭勞務者根本德次さん（二四）が山本氏は勞務者六名に對し二日分の手當を支拂つて來れないと泣き込んで來た、理由は去る二月六日に一應仕事が片づいたのでこの次の仕事が始るまでに休んでいて來れと云つたまゝその間二月分の手當が全然支拂つて來れないと云うもの、これに對し同署では二十一日請負人山本氏を取調ることになつた

上り列車急襲

平鐵道公安官派出所では十八日常磐線上り水戸往き平發六時五十五分列車を一齊急襲

◇主食一二〇キロ（二件）大豆三十キロ（六件）を押收した

署の拘留所
ごつた返す

十九日早朝二列車を急襲、米雜穀等合せて四十八俵を押收した、平自治警察署では違反者六十八名とゆう大量を二時にブタ箱に押詰めたが、うちは保護室に三十名を入れ文字通りブタ箱もごつた返し、署では十九日一杯かかつてこの種違反事件の取調を終つた

通行中の娘にわいせつ行爲
犯人は乞食

十九日午後十時四十分ころ平市南町通りに色魔が現われ通りかかつた二、三人の生娘にわいせつ行爲をなし〃キヤー〃と悲鳴をあげるのを聞いて〃騒ぐとなぐるぞ〃と嚇かしていたが警邏中の署員に現行犯でつかまつた、この犯人は茨城縣磯浦町から仙台に行こうとして最近平に現われた住所不定無職鈴木紋吉（四〇）という乞食であつた

釣 道具一式
取揃えました
御用命下さい
三井デパート
平市三丁目 電38

植田町役場
町長 渡邊國之助
助役 松村義節
收入役 古川二郎

祝 鮫川疏水通水十周年

日本水素工業株式會社
社長 莊野精二郎

上遠野村役場
村長 荒川久馬
助役 櫛田一
收入役 蛭田政雄

渡邊村役場
村長 永山定秀
助役 高木格五郎
收入役 若松一也

泉村役場
村長 吉田勝記
助役 渡邊義雄
收入役 草野喜一

磐崎村役場
村長 大田原憲太郎
助役 佐藤菊松
收入役 瀧信治

小名濱町役場
町長 樋口速
助役 長瀬國三郎
收入役 野崎昇太郎

植田地區
商業協同組合
理事長 赤津庄兵衞
專務理事 安島利景
植田町本町
電160番

秋山材木坑木店
植田町 電六二番
秋山市造
會津猪苗代營業所
秋山仁市

祝
勿來町
水道工事起工式

勿來町役場
町長 小松實
助役 平山篤
收入役 國井與一

勿來町議會議員一同
議長 青天目信治郎

勿來町消防團
團長 關根忍
副團長 小野六郎
同 中野秀雄
團員一同

勿來町農業協同組合
組合長 赤津庄兵衞
專務理事 荒川彥市

植田地區商業協同組合 勿來出張所

上遠野村農業協同組合
組合長 伊藤常陸

渡邊村農業協同組合
組合長 高木信定
專務理事 下山田英雄

泉村農業協同組合
組合長 金成金彥
專務理事 江尻利雄

磐崎村農業協同組合
組合長 大平正次

植田町農業協同組合
組合長 佐川正雄
專務理事 丹野與惣次

玉川農業協同組合
組合長 鈴木茂雄

小名濱町農業協同組合
組合長 長瀬誠明